

第2節 感染症

1 結核予防

(1) 新登録状況

表1 新登録状況（市町別・年齢別）

（平成28年）

	総数	活動性結核					罹患率 (人口10万 対)	潜在性 結核 感染症 治療中 (別掲)	
		肺結核活動性				肺外 結核 活動性			
		総数	喀痰塗抹 陽性	その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他				
管内計	21	15	3	11	1	6	8.0	3	
市町別	かほく市	3	3	-	3	-	-	8.8	1
	白山市	8	7	1	5	1	1	7.3	2
	野々市市	4	2	1	1	-	2	7.2	-
	津幡町	5	2	1	1	-	3	13.5	-
	内灘町	1	1	-	1	-	-	3.7	-
年齢別	29歳以下	1	1	-	1	-	-	1.3	-
	30～39歳	2	2	-	1	1	-	6.3	-
	40～49歳	1	1	-	1	-	-	2.5	-
	50～59歳	3	2	-	2	-	1	10.0	1
	60～69歳	1	1	-	1	-	-	2.7	1
	70歳以上	13	8	3	5	-	5	30.7	1

表2 肺結核塗抹陽性者初回治療コホート

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
治療成功割合	66.67	76.92	73.52	63.64	40.00	40.00	38.46	81.8
治療失敗脱落中断割合	0	0	0	0		0	7.69	0
死亡割合	8.33	23.08	11.76	18.18	26.67	20.00	15.38	18.2
情報不明割合	1.82	0	3.61	0	6.67	0	7.69	0

(3) 定期健康診断実施状況

表3-1 定期健康診断状況

(平成28年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	検査内容			患者 発見数	発病の 恐れのある者
				ツ反	間接撮影	直接撮影		
事業主	11,264	10,684	94.9		3,040	7,644	-	-
学校長	4,835	4,793	99.1		3,219	1,574	-	-
施設長	5,047	1,702	33.7		751	951	-	-
市町長	61,423	15,040	24.5		3,672	11,368	-	-
合計	82,569	32,219	39.0	-	10,682	21,537	-	-

表3-2 定期健康診断状況(市町別)

(平成28年度)

区分		対象者	受診者	受診率 (%)	患者発見数	発病の恐れのある者
一般住民 検診	管内	61,423	15,040	24.5	0	0
	かほく市	10,207	3,750	36.7	0	0
	白山市	29,004	3,141	10.8	0	0
	野々市市	8,059	3,505	43.5	0	0
	津幡町	8,386	2,262	27.0	0	0
	内灘町	5,767	2,382	41.3	0	0

(4) 接触者健診

表4 接触者健診

(平成28年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	保健所実施分				医療機関委託				実施分 その他	発見患者 数	発病の恐れ	
				延 (実)	検査内容内訳			延 (実)	検査内容内訳						
					QFT	撮間 影接	撮直 影接		ツ反	R I A G	撮間 影接				撮直 影接
患者家族	38	38	100.0	32 23	32			6 5	-	1	-	5	-	-	1
その他	105	101	96.2	72 52	72	-	-	31 25	3	10	-	18	25	-	2
合計	216	212	98.1	104 75	104	-	-	37 30	3	11	-	23	25	-	3

(5) 管理検診

表5 管理検診

(平成28年度)

対象者数	受診者数	受診率 (%)	受診機関			要医療者数	要医療率	再発の 恐れのある者
			保健所	委託医療 機関	その他			
83	82	95.1	-	51	31	-	-	-

(6) 結核対策特別促進事業

表6 結核対策特別促進事業内容一覧

(平成28年度)

事業名	事業の目的	実施期間 (日時)	対象	内容
医師研修会	診断治療にあたる医師に対し、最近の結核医療についての知識の普及を図り、適切な結核医療を推進する。	10月21日(金) 19:00~21:10	対象者 結核医療に携わる 医師 参加者：38人	講演 「結核の診断と治療～合併症のある患者の 治療を含めて～」 講師：公益財団法人結核予防会 結核研究所 伊藤邦彦先生
普及啓発 事業	結核に対する正しい知識を普及し、地域における結核予防の推進を図る。	11月10日(火) 13:30~16:00	対象者 高齢者福祉施設等 関係職員、市町関係 職員等 参加者：101人	講話 「知っておきたい結核対策のポイント」 講師：石川中央保健福祉センター職員

2 感染症予防

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に関する法律(以下感染症新法)」は、感染症の予防及びそのまん延の防止を目的として国及び地方公共団体が感染症をめぐる状況の変化や感染症の患者等が置かれてきた状況を踏まえ、これらの者の人権に配慮しつつ、総合的かつ計画的に対策を推進することを基本理念としている。さらに平成15年11月、近年の海外における感染症の発生状況や国際交流の進展、保健医療を取り巻く環境の変化を踏まえ、検疫体制の強化、緊急時における国内感染症対策の強化、動物由来感染症対策の強化を目的として、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律(以下改正法)」が施行された。また、平成18年6月にインフルエンザ(H5N1)が指定感染症として定められている。

さらに、平成18年10月には、病原体等の管理体制や感染症をめぐる環境の変化、結核対策における見直しの必要性から、病原体等の管理体制の確立、感染症分類の見直し、結核予防法を廃止し感染症法に統合、患者の人権尊重のための手続きの改善、感染症に関する情報公開・収集について、法改正がなされ、平成19年4月(病原体等の管理体制については平成19年6月)に施行された。改正法では、感染症新法における感染症の類型区分をさらに見直し、一類感染症に南米出血熱を追加し、二類感染症に重症急性呼吸器症候群を位置づけ、結核を追加し、三類感染症にコレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスを位置づけた。

保健所では、医師の届出に基づき、感染源等の調査や二次感染予防のための指導を行っている。また、地域での研修会や健康教育を通して、関係機関が感染症について知識を持ち、感染症予防及び感染症発生時に適切な対応ができるよう支援している。

(1) 感染症発生状況(一類・二類・三類・四類・五類：全数把握)

表1 一類・二類・三類感染症の発生状況(年次別発生件数)

疾患別		年												
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
一類 感染症	1	エボラ出血熱												
	2	クリミア・コンゴ出血熱												
	3	痘 ぞ う												
	4	南米出血熱*												
	5	ペ ス ト												
	6	マールブルグ病												
	7	ラ ッ サ 熱												
	8	新型インフルエンザ(A/H1N1)												
二類 感染症	1	急性灰白髄炎												
	2	結 核*	35	32	48	49	60	33	39	37	29	25		
	3	ジフテリア												
	4	重症急性呼吸器症候群												
	5	中東呼吸器症候群												
	6	鳥インフルエンザ(H5N1)												
	7	鳥インフルエンザ(H7N9)												
三類 感染症	1	コ レ ラ												
	2	細菌性赤痢	1	1	2									
	3	腸管出血性大腸菌感染症	39	37	15	26	18	8	13	4	5	6		
	4	腸 チ フ ス												
	5	パ ラ チ フ ス												

*平成19年4月の感染症新法の改正により新たに全数把握の対象となった疾患

(結核については平成19年4月からの集計である。)

平成11年3月以前は伝染病予防法等の法律、平成11年4月から平成15年11月までは感染症新法、平成15年11月及び平成19年4月以降は改正法に基づく届出による。

表2 四類・五類感染症（全数把握）の発生状況（石川中央管内・年次推移）

疾患別		年	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
四 類 感 染 症	1	E型肝炎							1		2	2
	2	ウエストナイル熱										
	3	A型肝炎	1									
	4	エキノコックス症										
	5	黄熱										
	6	オウム病										
	7	オムスク出血熱*										
	8	回帰熱										
	9	キャサヌル森林病*										
	10	Q熱										
	11	狂犬病										
	12	コクシジオイデス症										
	13	サル痘										
	14	ジカウイルス感染症										
	15	重症熱性血小板減少症候群										
	16	腎症候性出血熱										
	17	西部ウマ脳炎*										
	18	ダニ媒介脳炎*										
	19	炭疽										
	20	チクングニア熱										
	21	つつが虫病										
	22	デング熱										
	23	東部ウマ脳炎*										
	24	鳥インフルエンザ										
	25	ニパウイルス感染症										
	26	日本紅斑熱										
	27	日本脳炎										
	28	ハンタウイルス肺症候群										
	29	Bウイルス病										
	30	鼻疽*										
	31	ブルセラ症										
	32	ベネズエラウマ脳炎*										
	33	ヘンドラウイルス感染症*										
	34	発しんチフス										
	35	ボツリヌス症										
	36	マラリア										
	37	野兎病										
	38	ライム病										
	39	リッサウイルス感染症										
	40	リフトバレー熱*										
	41	類鼻疽*										
	42	レジオネラ症	2	3	1	3	7	1	2	5	4	5
	43	レプトスピラ症										
	44	ロッキー山紅斑熱*										

* 平成19年4月の感染症新法改正により新たに全数把握の対象となった疾患

平成11年3月以前は伝染病予防法等の法律、平成11年4月から平成15年11月までは感染症新法、平成15年11月及び平成19年4月以降は改正法に基づく届出による。

疾患別		年	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
五 類 感 染 症	1	アメーバ赤痢			2		1	1	2	3	1	1	
	2	ウイルス性肝炎		1						1			
	3	カルバペネム耐性腸管細菌感染症								1	1	3	
	4	急性脳炎	2		1	1	2				1		
	5	クリプトスポリジウム症											
	6	クロイツフェルト・ヤコブ病						1					
	7	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1	2	1		1	1	
	8	後天性免疫不全症候群											1
	9	ジアルジア症			1						1		
	10	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	1	
	11	侵襲性髄膜炎菌症											
	12	侵襲性肺炎球菌症							3	3	4	4	
	13	水痘（入院）										3	1
	14	先天性風しん症候群											
	15	梅毒		1	1	1	1		3	2	4	1	
	16	播種性クリプトコックス症											
	17	破傷風					1						
	18	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症											
	19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											
	20	風しん							3				
	21	麻しん*		3									
	22	薬剤耐性アシネトバクター感染症											

* 平成19年4月の感染症新法改正により新たに全数把握の対象となった疾患（結核については平成19年4月からの集計である。）

平成11年3月以前は伝染病予防法等の法律、平成11年4月から平成15年11月までは感染症新法、平成15年11月及び平成19年4月以降は改正法に基づく届出による。

(2) 感染症発生状況 (五類 定点把握)

ア 月別発生状況 (人数)

表3 小児科・内科・眼科疾患 (週報)

(平成28年)

感 染 症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
インフルエンザ	管内	283	2055	2082	306	10					24	56	442	5258
	県内	935	7347	6922	1274	66		5	6	1	47	314	1596	18513
RSウイルス感染症	管内	7	2		3					40	152	30	8	242
	県内	17	7	1	5	1	3	2	35	387	429	114	68	1069
咽頭結膜熱	管内	26	21	14	8	16	40	31	16	7	3	13	16	211
	県内	160	132	70	95	137	178	91	49	43	41	72	154	1222
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	40	49	37	47	30	30	24	15	12	17	15	26	342
	県内	376	421	357	327	313	344	182	144	203	231	227	347	3472
感染性胃腸炎	管内	147	161	171	147	134	183	103	98	113	147	280	647	2331
	県内	681	585	684	568	439	601	395	305	511	522	1120	2349	8760
水痘	管内	9	5	4	1	6		3	3	19	12	14	42	118
	県内	35	41	40	25	32	18	22	15	62	35	39	107	471
手足口病	管内		2	1	1	3	4	13	30	26	28	21	8	137
	県内	4	3	5	1	4	10	38	77	160	136	56	22	516
伝染性紅斑	管内	1	5	38	35	20	35	18	8	3	1	1	1	166
	県内	38	55	121	79	48	72	33	14	4	4	6	2	476
突発性発しん	管内	18	12	8	29	23	37	25	27	22	19	16	20	256
	県内	37	32	35	60	55	81	63	55	62	56	47	61	644
百日咳	管内										1			1
	県内										1	2		3
ヘルパンギーナ	管内					1	10	39	79	26	11	4		170
	県内					6	52	275	346	218	37	10	1	945
流行性耳下腺炎	管内	114	100	69	74	88	76	31	31	42	34	36	25	720
	県内	394	313	280	246	200	193	120	125	192	93	81	63	2300
急性出血性結膜炎	管内													0
	県内													0
流行性角結膜炎	管内	7	3	3	1	1	2	6	4	2	7	1	2	39
	県内	14	8	8	4	3	4	9	8	7	11	3	12	91
細菌性髄膜炎	管内						2							2
	県内				2		2	1		1				6
無菌性髄膜炎	管内					2	2			1	1	2		8
	県内	1	1		1	2	4	2	1		1	2	2	17
マイコプラズマ肺炎	管内					1	3	7	1	3	5		1	21
	県内	20	22	34	14	14	25	22	24	41	50	47	46	359
クラミジア肺炎	管内													0
	県内													0
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	管内	1				2								3
	県内	1	2	4	14	7			1				1	30

表4 STD疾患・薬剤耐性菌感染症（月報）

（平成28年）

感染症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
性器クラミジア 感染症	管内	5	7	5	6	6	7	4	6	7	4	5	5	68
	県内	25	16	21	25	21	23	21	24	30	24	12	24	266
性器ヘルペス ウイルス感染症	管内						1	1	1			2		5
	県内	6	6	4	5	9	9	10	10	5	7	11	7	89
尖圭 コンジローマ	管内		1	1	1		2	8	2	1				16
	県内	5	5	7	4	3	10	12	3	9	7	4		69
淋菌感染症	管内	3	4	2	4	4	4	3	3	4	2	3	3	39
	県内	15	13	18	22	24	22	19	24	19	20	27	23	246
メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	管内													
	県内													
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	管内													
	県内		1	1	1	2	4	1	3	1			2	16
薬剤耐性緑膿 菌感染症	管内													
	県内													
薬剤耐性アシネト バクター感染症	管内													
	県内													

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は平成24年1月14日に5類感染症に追加された。

イ 疾患別発生状況（石川中央管内・定点あたり報告数）

図1 インフルエンザ・小児科定点把握疾患発生状況の月別推移（平成24～28年）

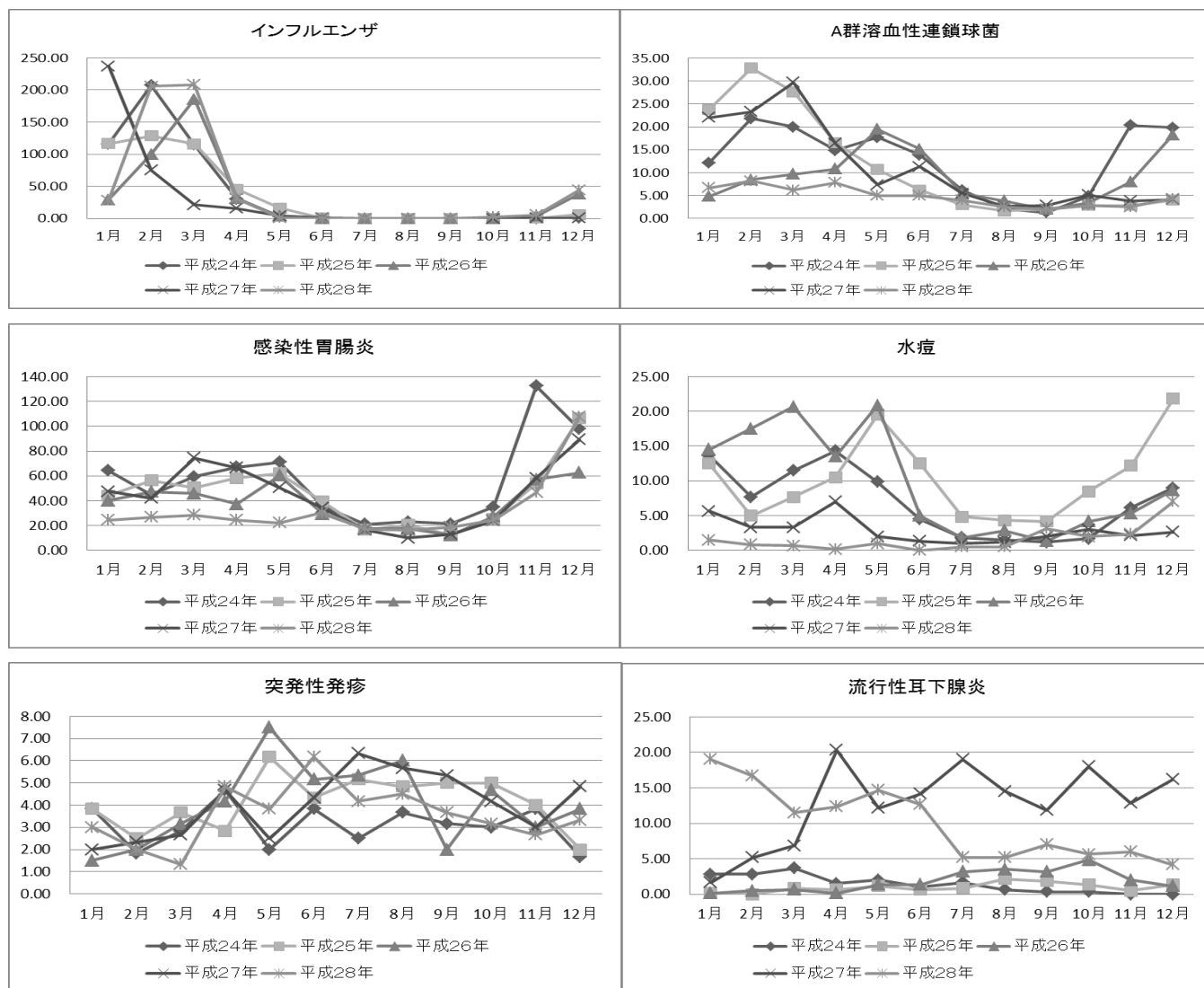


図2 S T D 疾患の年齢別発生状況（平成28年）

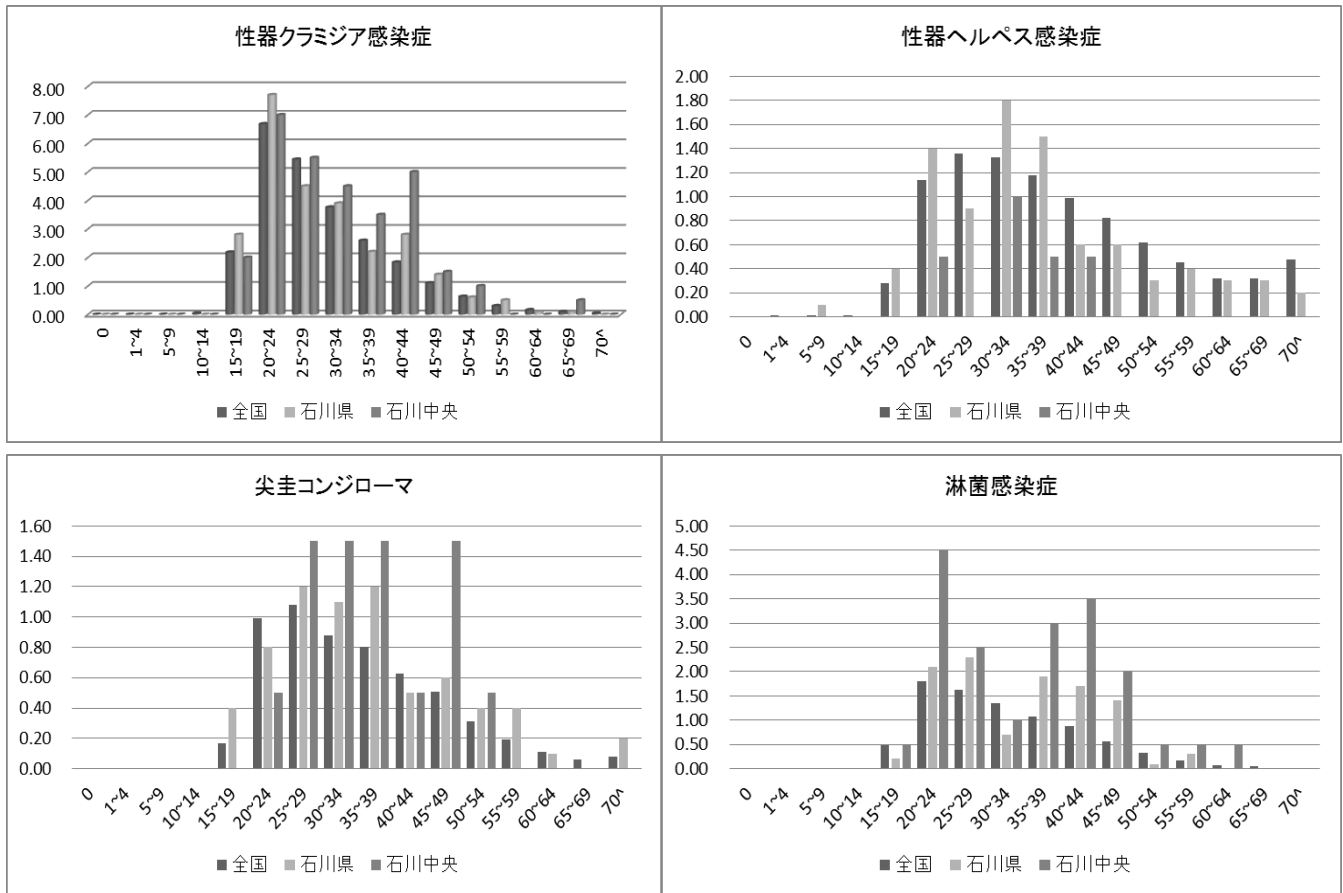
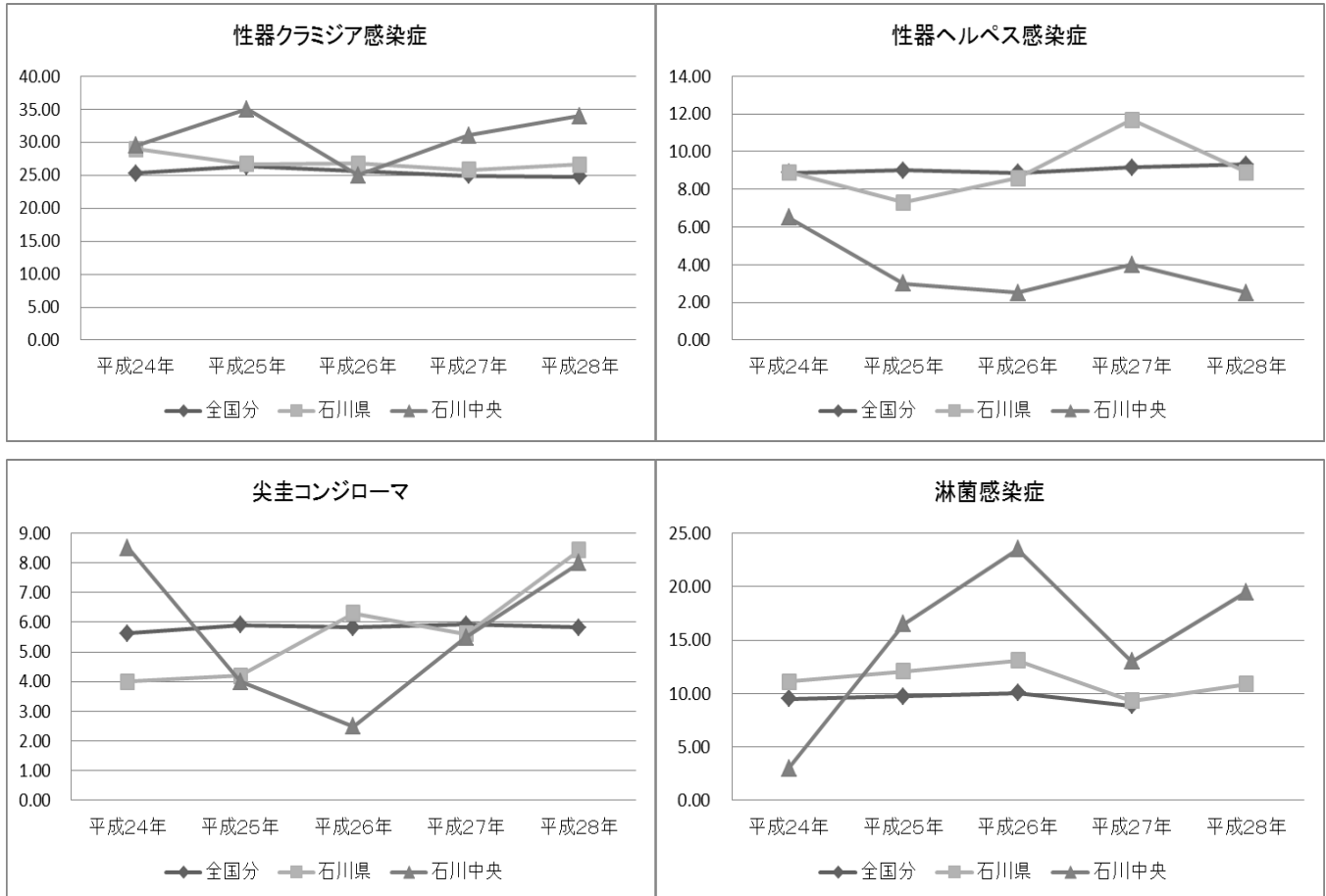


図3 S T D 疾患発生状況の経年推移



(3) 感染症予防相談・訪問指導

表4 感染症予防相談・訪問指導状況

(平成28年度)

区分		1類感染症		2類感染症		3類感染症		4類感染症		5類感染症		その他		計	
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
相談	来所	0	0			1	3	0	0	163	398	0	0		
	電話		0				20		2		56				
訪問指導		0	0			9	13	5	6	1	2	0	0		

(4) 感染症検査

表5 感染症検査実施状況

(平成28年度)

区分		患者・患者との接触者	食品取扱従事者	給食施設従事者	水道給水従事者	その他	計
検査 件数	依頼	0					
	行政	22					
陽性件数		0					

※感染症発生届出・感染症集団発生報告を受けて実施した検査件数

(5) 感染症予防研修会

(平成28年度)

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加人数
平成28年11月8日(火) 13:30~16:00 いしかわ総合 スポーツセンター	1)「冬季に流行する感染症対策～インフルエンザ・ノロウイルス感染症等の対応について～」 能美市立病院感染管理認定看護師、KKR北陸病院感染管理認定看護師 2)「感染症集団発生時の情報把握と報告について」 健康推進課職員 3)「知っておきたい結核対策のポイント」 健康推進課職員 4)「感染性胃腸炎を想定した嘔吐物の処理方法について」	高齢者福祉施設 職員 市町担当者	78人
平成28年11月16日(水) 13:30~16:00 リハビリテーション センター	能美市立病院感染管理認定看護師、KKR北陸病院感染管理認定看護師、健康推進課職員 1)「冬季に流行する感染症対策～インフルエンザ・ノロウイルス感染症等の対応について～」 能美市立病院感染管理認定看護師、KKR北陸病院感染管理認定看護師 2)「施設における感染症の早期把握と集団発生時の対応」 健康推進課職員 3)「感染性胃腸炎を想定した嘔吐物の処理方法について」 能美市立病院感染管理認定看護師、KKR北陸病院感染管理認定看護師、健康推進課職員	保育所・幼稚園 職員 障害関連施設職員 市町担当者	47名

(6) 感染予防のための施設巡回指導

(平成 28 年度)

実施日	施設数
認可外保育所(12月～2月)	3ヶ所

※公立保育所は最低基準検査、法人保育所は指導監査と併せて感染症予防の指導を実施

(7) 感染症に関する健康教育

(平成 28 年度)

日時・会場	対象	研修内容	参加人数
平成 28 年 5 月 11 日 13 時 5 分～14 時 10 分 金沢大学保健学類	金沢大学保健学類 4 年生	講義：保健所の感染症活動の実際	92 名
平成 28 年 10 月 18 日 9 時～16 時 社会福祉会館	県内保育所看護師	講義：衛生管理及び感染症対策	66 名
平成 28 年 10 月 21 日 10 時 40 分～12 時 石川県立看護大学	石川県立看護大学 4 年生のうち「感染看護学」を選択した者	講義：感染症保健活動の実際	40 名
平成 28 年 12 月 8 日 17 時 30～18 時 10 分 管内事業所	事業所職員	講義：感染症対策	155 名
平成 28 年 12 月 21 日 10 時 45 分～11 時 15 分 FM-N1	ラジオリスナー	講義：感染症予防～インフルエンザ・ノロウイルスについて	

(8) 所内訓練

(平成 28 年度)

日時・会場	対象	研修内容	参加人数
平成 28 年 12 月 22 日 10 時～12 時 石川中央保健福祉センター	石川中央保健福祉センター職員	実技：鳥インフルエンザ発生時の対応訓練	25 名

3 エイズ・性感染症予防

(1) HIV患者・感染者届出状況

表1 HIV患者・感染者届出状況(平成28年12月25日現在)

	HIV感染者	AIDS患者
全 国	18,851	8,493
石 川 県	80	38

※凝固因子製剤による患者・感染者は除く

(2) エイズ相談・検査

表2 エイズ相談・検査実施状況

年度	区分 地域別	相談受付件数			相談内容(再掲)		検査(再掲)	相談方法(再掲)	
		男	女	計	相談のみ	検査依頼	迅速検査	来所	電話
平成23年度	石川中央	122	68	190	23	167	144	171	22
	河北地域センター	13	9	22	6	16		16	6
平成24年度	石川中央	135	70	205	13	192	171	192	13
	河北地域センター	21	8	29	25	4		8	21
平成25年度	石川中央	131	65	196	17	179	159	182	14
	河北地域センター	4	3	7	2	5		5	2
平成26年度	石川中央	120	60	180	20	162	124	163	17
	河北地域センター	9	2	11	5	4		7	4
平成27年度	石川中央	128	37	165	15	150	128	154	11
	河北地域センター	9	2	11	8	3		4	7
平成28年度	石川中央	112	49	161	11	150	133	150	11
	河北地域センター	11	7	18	7	11		11	7

(3) 性感染症相談

表3 性感染症相談状況

年度	区分 地域別	相談件数			血液検査受付件数(再掲)			相談方法(再掲)		
		男	女	計	男	女	計	来所	電話・メール	計
平成24年度	石川中央	83	41	124	82	38	120	120	4	124
	河北地域センター	19	5	24	3	2	5	7	17	24
平成25年度	石川中央	43	21	64	43	21	64	64	-	64
	河北地域センター	3	2	5	3	2	5	5	-	5
平成26年度	石川中央	88	48	136	88	48	136	136	-	136
	河北地域センター	4	2	6	4	-	4	4	2	6
平成27年度	石川中央	100	28	128	91	24	115			
	河北地域センター	2	-	2	2	-	2	2	-	2
平成28年度	石川中央	85	38	145※	83	34	117	117	28	145
	河北地域センター	7	11	18	6	4	10	10	8	18

※性別不明1を含む

(4) エイズ・性感染症予防に関する普及啓発

ア 講演会

目 的：管内の高校において、生と性の健康について考える機会を提供し、エイズや性感染症に関する正しい知識と予防法を啓発するとともに命の大切さを学ぶ

日 時：平成29年2月20日(月) 14:10 ～ 15:00

場 所：石川県立津幡高等学校

対象者：2年生の生徒 109人

講 師：助産師 植田 幸代 氏

内 容：生と性の学習会「こころ・からだ・性 大切なあなたに～助産師として伝えたいこと」

イ 健康教育

日 時：平成28年11月21日(月) 10:40～11:20

場 所：石川県立大学

対象者：1年生 106人

講 師：石川中央保健福祉センター職員

内 容：性感染症とH I V/エイズ

ウ 普及啓発・広報

①「H I V検査普及週間(6月1日～7日)」のP R

内 容：管内の大学及び自動車学校でチラシ入りのポケットティッシュ配布、所内にポスター掲示、ホームページに掲載

②ラジオ(FM-N1)での広報

内 容：保健所「エイズ/H I Vについて」

日 時：平成28年11月16日(水) 10:15～11:15

③成人式でのチラシの配布

内 容：保健所のエイズ検査のP R 等

4 ウイルス肝炎対策

(1) ウイルス肝炎相談・検査

肝炎ウイルス検査は、40歳以上の者を対象に平成14年度から実施しており、平成15年度からは、40歳未満の者に対し有料検査が追加されていた。平成19年12月からは、40歳未満の者に対しても無料で検査を実施している。

平成19年12月に厚生労働省が、フィブリノゲン製剤投与の可能性がある方へのC型肝炎検査受診の呼びかけを行い、平成20年度からは、石川県緊急肝炎ウイルス検査事業の実施により、医療機関でも検査を受けられるようになった。

表1 ウイルス肝炎相談・検査実施状況 (平成28年度)

区分 年度	地域別	相談件数	血液検査受付件数(再掲)		
			男	女	計
平成24年度	石川中央	297	75	37	112
	河北地域センター	167	3	1	4
平成25年度	石川中央	271	38	21	59
	河北地域センター	121	0	1	1
平成26年度	石川中央	188	84	41	125
	河北地域センター	61	0	4	4
平成27年度	石川中央	92	65	19	84
	河北地域センター	2	1	0	1
平成28年度	石川中央	97	64	32	96
	河北地域センター	5	3	1	4

(2) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業

平成20年4月より、県民の肝炎ウイルス検査の受診機会を拡大し、肝炎の早期発見、治療の推進を図る事を目的として、石川県緊急肝炎ウイルス検査事業が始まり、医療機関においても無料で検査を実施できるようになった。

検査の対象者は、県内（金沢市を除く）に居住する20歳以上の希望者で、過去に肝炎ウイルス検査を受けた事がなく、健康増進法その他の法令に基づく事業において肝炎ウイルス検査の受診の機会がなかった者である。

平成28年度の管内受診者は231名（昨年度189名）で、その内B型肝炎陽性者は1名（昨年度1名）、C型肝炎陽性者は1名（昨年度1名）確認された。陽性者については、当保健所から受診勧奨や研修会参加勧奨等のフォローアップを実施した。

(3) 研修会

表2 肝炎ウイルス感染者等支援事業（肝炎に関する講演会）

（平成28年度）

日時・会場	対象	研修内容	参加状況
平成29年3月14日 14:00～16:30 石川中央保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none">・肝炎ウイルス感染者・感染者の家族等・管内市町肝炎対策担当者・保健所職員 等	講演 「B型肝炎、C型肝炎の 正しい知識と最新の治療」 個別相談 講師：金沢大学附属病院消化器内科 助教 島上 哲朗 氏	6人 (市町:1人)